

学校へ貸出可能な戦争関連資料

行田市郷土博物館では、学校授業での利用に対応する出張展示を行います。
平和に関する学習、小学３・４年生の国語学習などにご利用ください。

【 貸出手順 】

1. 郷土博物館に電話(048-554-5911)で相談をする。
 - ・利用希望日、利用する学年、学習教科などについて
 - ・貸出希望資料について
(具体的な資料名・または「おおよそケース〇個分くらい」など)
2. 学芸員が貸出可能な資料・期間を調整
3. 「資料館外貸出申請書」を博物館に提出する。
3. 前日、または当日に学芸員が学校まで資料を運搬、教室に展示。
4. 授業にて利用。
5. 学芸員が資料の撤収、運搬を行い、博物館に資料を返却。

【 注意事項 】

※貸出は原則として行田市内の小中学校を対象としています。

展示場所は教室・体育館など、資料貸出中は施錠できる場所となります。

※貸出期間は、授業利用日の前後１日(5日以内)程度を原則とします。

日時の調整が必要な場合があります。

※1月中旬～4月初旬は、博物館にて展示を行うため、貸出利用ができません。

※展示・運搬作業は学芸員が行い、博物館から持参する展示ケースにて

展示します。児童・生徒の方が直接資料にさわることはできません。

展示ケースの大きさは縦６０×横９０×高さ７５cm、アクリル製のカバーがつきます。

※希望があれば、学芸員が展示に立会い、説明することも可能です。

この場合、日時等の打合せをお願いします。

※資料の画像のみ利用したい場合には、別途ご相談ください。

【 貸出資料例 】 ※この一覧表から直接画像を取得しないでください。

※掲載資料以外に「こんな資料はないか？」などの問い合わせ
にも対応します。お気軽にお問合せください。

きびしい暮らし

戦争が始まり、変わっていった人々の暮らしを示す資料です。



「開戦を告げる新聞」

S16年12月9日、前日の
真珠湾攻撃を伝える新聞。



「衣料切符」

物資が不足し、生活用品も購
買に制限がかけられました。



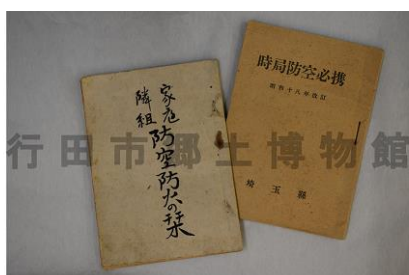
「代用かんづめ・おたま」

金属供出などより不足した
生活用品を示す資料です。



「防空頭巾」

まちに暮らす人々も空襲への
備えが必要になりました。



「空襲時の手引書」

空襲の際には、逃げずに消火
に努めることとされました。



「焼夷弾」

博物館建設の際の発掘調査で
みつかりました。



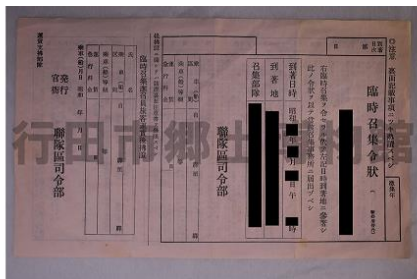
展示例

※実際にはアクリル製のカバーをかぶせます。
※展示資料により、配置・展示ケース数が変わります。

利用: 小学校3年生国語「ちいちゃんのかげおくり」など。
再現製作した「干し飯」も貸出可能です。

戦争へいく

徴兵制により、一般の人も召集されて戦地に赴いたことを示す資料です。



「召集令状(複製品)」

「赤紙」とも呼ばれました。
これは複製した資料です。



「千人針」

赤い糸で結び玉をつくり、
戦場での武運を祈りました。



「水筒」

戦地で兵士が使った水筒で
す。名前が書かれています。



「銃剣」

銃の先につけて刺突用の
武器として使われました。



「乾パン」

戦地で携帯された非常食
でした。



「ドロップ缶」

戦地の兵士に送られた慰問袋に
入れられました。



展示例 ※実際にはアクリル製のカバーをかぶせます。
※展示資料により、配置・展示ケース数が変わります。

利用: 小学校 4 年生国語「ひとつの花」など。

写真パネル

51 cm×42 cmの壁掛けパネルになっています。



「満蒙開拓団出発式」



「なぎなたの教練」



「勤労奉仕」



「防空演習」



「避難訓練」



「出征兵士の見送り」

お問い合わせ

行田市郷土博物館

TEL 048-554-5911

FAX 048-553-4951

メールアドレス kyodo@city.gyoda.lg.jp